

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(7/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	3.5	4.5 進捗度 ・研究段階(入口)における効果 105% ・関西におけるスマートコミュニティ普及の達成 124% ・特区支援制度活用によるイノベーション拠点におけるプロジェクト件数 136% 等	2.9 規制の特例等 ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 財政支援等 ・医薬品の研究開発促進 等 地域独自の取組 ・「大阪バイオファンド」によるベンチャー支援 等	3.3	・ライフ・イノベーション分野のビジネス展開は進捗している。 ・評価指標(4)及び(5)は、グリーン・イノベーション分野の成果を測る評価尺度として適切か。総合特区としてのエネルギー関連事業の具体的な進捗を評価する指標の検討も必要であると判断する。 ・PET検査医薬品に関する事業について、当区域における研究拠点の形成にどのように寄与したのか、より具体的に記載することが望ましい。 ・今後、大阪重粒子線センター及び国立循環器病研究センターの運用が開始された場合は、取組状況を踏まえつつ、評価指標や数値目標のあり方について検討することが望まれる。